

2021/9/21 No.30 東京支部事務局

## 新型コロナウイルス下での支部運営報告

### 撮影会と2回のリモート例会

新型コロナウイルスが蔓延している中ではあるが、撮影会担当の菅澤さんの尽力で、6月5日(土)に日帰り撮影会(薬師池公園)が実施できた。

また、5月22日(土)及び8月28日(土)の定例講評会はやむを得ずリモートで行った。以下にそれぞれについて報告する。

#### 1. 定例講評会 5月22日(土)

引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策として、リモートでの例会を開催した。

前回は、Facebookの messenger room(無料、参加人数50人以下、接続時間無制限)を採用したが、画面共有操作する場合の参加者上限が16人であったので、参加者は前半・後半と分けて行わざるを得ず、課題が残った。

今回は、より多くの参加者で画面共有が出来ることがわかっている Google Meet(6月末まで無料(三ヶ月毎延長されている)、参加者100人以下、時間実質無制限)を採用した。

Google Meetは、参加者それぞれが Google Chromeのダウンロードと g-mail addressの取得が必要であったが、1部の会員を除きほとんどの方が対応できた。今回の例会は、山口高志先生にリモートでの講評をお願いした。13:00頃から開始し、1人作品5点で、割り当て時間7分+ $\alpha$ 、7人が終わったところで、10分休憩を入れるやり方で実施。21人分の講評後、先生の選ばれる優秀作品10点の発表で終了した。終了時間17:40でした。

出席者：20人+1(講師)(作品提出21人)

今回は全員参加で最後まで行え、内容もとても良かったので、参加者にも好評でした。

また、参加者各人毎の講評を録音して、終了後それぞれに配ったが、好評だった。

ただ、リモートに参加できない会員も一部おられるので、次回は通常の会場での例会を実施したいと考えて

いる。

#### 2. 定例講評会 8月28日(土)

例会で使用予定の会場が新型コロナの蔓延でクローズになったので、前回に引き続き、リモートで開催することにした。リモートの方法は前回実績のある Google meetを採用した。

ただ、無料期間は6月までだったので、今回から有料となり、必要な契約を行い、実施した。

参考までに、

・ドメイン代(ドメインの名称により大きく異なる。

我々の例では)：1400円/年、

・Workspace business starter(一番低額のプラン)

代：680円/月

主催者だけ契約すれば、ゲストの皆様には追加の費用は不要。

今回も、山口高志先生にリモートで画面共有での講評をお願いした。

1人作品5点で、割り当て時間7分+ $\alpha$ 、各人の作品から金、銀2点を選び、10人が終わったところで、10分休憩を入れるやり方で実施した。

19人分の講評後、評価：金の中から、先生が選んだ優秀作品8点の発表で終了した。13:00頃から開始し、終了時間16:50だった。

3ヶ月ぶりのリモート例会だったので、1部、接続に手間取り、開催がおくれたが、その後は順調にすんだ。先生の声も明瞭でとても分かりやすかった。

今回も、参加者各人毎の講評を録音して、終了後それぞれに配った。

コロナが終息し、実際の会場での例会が出来る日が待ち遠しい。出席者数：19人+1(講師)

(文責 井上武夫)

### 薬師池公園撮影会 6月5日(土)

コロナ禍での春の撮影会は、東京支部の今年度のテーマである「東京の自然」をいろいろ検討した結果、町田市の薬師池公園で開催されました。当日は「しょうぶ紫陽花祭り」の開催中でした。前日の大雨があがり、曇りから晴れ間も見える天気、花菖蒲が見ごろ

でアジサイも咲き始め上々のコンディションでした。

参加者13名： 泉屋さん 井上さん 紀田さん  
佐藤（直）さん 佐々木さん 須加尾さん 菅澤さん  
鈴木（暎）さん 高橋さん 戸張（真）さん  
戸張（伸）さん 野間（清）さん 野間（芳）さん  
（あいうえお順）



（文責 菅澤光裕）

### 薬師池公園での撮影会に参加して

年初から緊急事態宣言などが断続的に出るなか、撮影できないストレスが溜まっていたので、今回、躊躇しながらも出掛けることにしました。公園には早めに着いたつもりでしたが、殆どの方が早朝から撮影しておられたと聞き、意欲の差を大いに反省させられました。

花ショウブ園でお姉さん方による花摘みが始まると、紀田さんの案内で撮影開始。お姉さん方を追いながら撮影しましたが、絵にならないマスク姿を避けるのに苦労しました。その後、やくし茶屋に集合、撮影会担当の菅澤さん、撮影場所を案内いただく紀田さんからお話があり、撮影指導の高橋さんの先導で茶屋のすぐ裏手にある茅葺き屋根の荻野家住宅から撮影開始。その後、再び、花ショウブ園へと移動。花ショウブ園には様々な色とりどりの花ショウブが植えられていて、被写体には事欠かず、あっと言う間に正午頃の休憩時間になりました。

休憩時間には「花より団子」の私たちは好物の団子などを頬張って大いに満足。流石に早朝から撮影して

いる方の中には撮影を切り上げる方もおられ、自然散会となりました。

私たちは公園再訪に備え園内を見て回りましたが、私にとって念願のカワセミに会うことが出来たのは最大の収穫。アジサイ園近くの池畔に超望遠レンズを付けた大勢のカメラマンが集合していましたが、私には何処に何がいるのかさえ分かりませんでした。「あの杭にとまってるよ」という声で目を凝すと、そこにはとても小さいが美しいカワセミの姿があり小躍り。暫く525mm相当のレンズで撮りまくりました。大幅トリミングしても使える写真がほんの少しだけあったのは大きな喜びで、ハクチョウ同様、今後も機会を見付け、カワセミの撮影にも取り組みたいと強く感じながら薬師池公園をあとにしました。

最後になりましたが、当日の撮影会の開催にご尽力いただいた関係各位に心からお礼申し上げます。

（文責 野間清治）

### 篠原雅彦さん 写真展

#### 日本の美 開催

7月22日（木）～8月8日（日）

リコーイメージングスクエア東京と富士フォトギャラリー銀座にて篠原さんの写真展が開催されました。篠原さんをご存じのようにプロの写真家として活躍されており、今回の個展は今までの集大成といえる素晴らしい内容でした。

私達の伺った日はちょうど師事されている辰野清先生がお見えになっていました。テーマに合わせて篠原さんは和服でお出迎えしてくださいました。

写真集の最初にできますが「神々の宿る国」という作品を表装して掛け軸のようにしているのが目をひきました。他の作品もゆっくり見て篠原さんの追及する日本の美に感動しました。個人的には以前作品展に展示していて印象に残った2点も展示されていてうれしく思いました。

篠原さんは 現在大阪のリコーイメージングギャラリー

-で個展を開催中です。

すべての写真展を終えてから次号に「写真展を終えて～写真展までの道のり」(仮題)のテーマで寄稿してくださいませ。ご期待ください。(文責 戸張伸子)

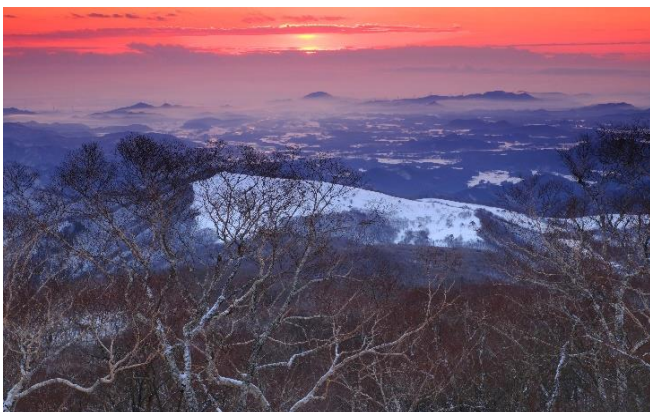
## 私のお気に入り撮影地

私のお気に入り撮影地はJR日光駅から大笹牧場に向かい約40分位の所にある「六方沢」「霧降ノ滝」です。季節々々により、違った雰囲気を見せてくれる飽きない撮影地です。

まず、はじめは「六方沢」。「六方沢」とのお付き合いは、10数年前の東京支部撮影会からです。当時は、5月連休明け「六方沢」の橋の上から谷底を見るとピンクのヤシオツツジの群生が咲き乱れ、谷の下からはもやが湧き上がり、そのもやが上下するたびに、ピンクのヤシオツツジが見え隠れ、そしてそこに陽が射し、素晴らしい光景を見ることが出来た場所です。

しかし、最近では残念ながら、渓谷も崩れ、年々花付きも悪くなっていることとこの場所は自殺の名所のため、数年前に橋の両側に約3m位の金網壁が造られ、撮影がしにくい状態となったため、最近はこちらを訪れる撮影者はほとんどいません。

と言うことで、ここ数年前からは、「六方沢」の橋の手前にある駐車場からの景色を楽しんでいます。ここは、駐車スペースも広く通年の楽しめるスポット(2年前「X-T3にほんを巡る」の取材で行った場所)でありながら、撮影者は3~5名程度、1人の時もあり、素晴らしい風景を独り占めできる場所です。



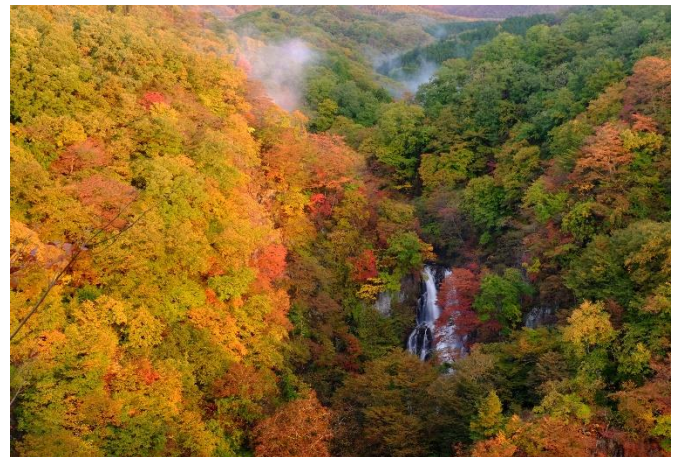
冬は霧氷、春は見下ろす町の明かり、朝日に光る川、遠くに霞む山並み、初夏はヤシオツツジ、秋は紅葉、それに運が良ければ雲海と様々な光景を見せてくれます。日の出前は空が赤らみ何とも神秘的な風景を見ることが出来ます。

次のお気に入りには、大笹牧場方面へ向かう道路の入口にある撮影地です。皆さんもご存じの有名撮影地「霧降ノ滝」です。トイレも整備されている広い駐車場から徒歩10~15分程度。展望台から、素晴らしい「霧降ノ滝」が俯瞰できるポイントです。

ただし、展望台が狭い(4~5名)ため、良い位置を確保するには、暗い内に駐車場に入り、静かに車を降り歩き出さなければなりません。

展望台に着くとまだ薄明りの中、正面に青白い3段の「霧降ノ滝」が見えて来ます。暗い中で撮影も可能なので撮影準備をし、撮影開始。ここは日の出から20分位がシャッターチャンス。大自然のドラマが始まります。

冬は滝が凍り、周辺の枯れた木々に日が入ると木々は真っ赤に染まり、素晴らしい光景になります。また、秋は、赤・黄色に染まった紅葉と紅葉に包まれた滝の流れがとても綺麗です。



ポイントの滝を入れ、全景を狙うのもよし、また望遠レンズで滝周辺の木々・岩と滝を絡めた共演を狙うのもよし、しばらくの間、美しい変化を楽しむことが出来ます。

駐車場周辺は、5月中・下旬になるとレンゲツツジが満開となり、とても華やかな場所になります。

「六方沢」での早朝撮影、また、「霧降ノ滝」の早朝撮影を終え、この場所に行くと丁度(8時から8時半頃)ツツジが咲く斜面の上から、太陽が出、オレンジ、ピンク色のツツジに日が入り、これまた素晴らしい景色に出会えます。

このスポットは、JR日光駅から比較的近い場所であり、行きやすいところです。さらに、時間があれば、日光東照宮方面へ、また、いろは坂を通り奥日光の方まで足を伸ばすことも出来ます。(文責:戸張 眞)

## 写友広場

2021年6月から9月の間には、以下の方が入選入賞されました。

★二科写真部 会友賞「石舞台」 佐々木節子  
★2021年JPA公募展 入選 「秋日和」  
鈴木雍人

月刊風景写真 2021年7、8月号

★巻頭ギャラリー 滝40選 白糸の滝 高橋清  
★里暮らしの風景 準優秀賞  
「初秋の彩り」 高橋清

月刊風景写真 2021年9、10月号

★巻頭ギャラリー 紅葉ベストポイント  
表紙 高橋清  
★単写真部門 優秀賞 「冬日群泳」 高橋清

会員のコンテスト入選や個展、風景写真誌、フォトコン掲載などの情報がありましたらお寄せください。自己申告大歓迎です。

(文責 戸張伸子)

## 事務局より

7月8日の一斉メールでお知らせしましたが、東京支部のホームページに高橋清さんの風景写真100回入選(2017年に達成)の作品と解説を掲載してもらいました。高橋さんには、資料集めなどに大変ご苦勞をおかけしました。しかし、ホームページのこの記事は、支部の皆様のみならず、現在大活躍の写真家の皆様にも大変好評で、よかったと思います。

今後も機会をみて新たな企画を考えたいと思います。

### 今後の予定

1. 10月7日(木)～9日(土)

東京支部秋の撮影会(志賀高原)が開催されます。夏の日帰り撮影会につぐ、2泊3日の撮影会で楽しみます。

2. 11月20日(土)

東京支部の特別研究会で、講師に林惣一先生をお招きして行います。いつものケンコー・トキナーの会場にて開催の予定です。林惣一先生は東北電力を60歳で定年退職されてから、撮影を始められたそうで、我々に大いに参考になるお話が聞けることと思います。

3. 11月26日(金)～12月2日(木)

東京支部第19回作品展です。銀塩プリント(大全紙)の検品一回目が終了しております。参加者26人。

4. 12月18日(土)

定例講評会です。会場でできることを願っております。(文責 井上武夫)

## 編集後記

コロナ禍の猛暑の夏の後には台風がやってきましたが皆様お元気でおすごでしょうか?

ワクチン接種もほとんどの会員の方は2回済んだ頃と思います。秋の撮影シーズンを控え、早くコロナがおさまってほしいと願っています。

それにしても高橋さん、篠原さんをはじめ、会員の皆様のご数年の活躍ぶりには、目を見はるものがあります。皆様の素晴らしい作品を見せていただくことにより感動したり触発されています。時には同じ撮影地を訪れてみることもあります。

東京支部OBの藤田忠さんもそのような方の1人でした。残念ながら難病で亡くなりましたが、不思議なご縁を感じる方で、今も折にふれては思い出します。渡良瀬遊水地や小貝川、埼玉県的美の山公園、長野県のカヤの平の作品・・・風景写真誌にも何回も入選入賞されて「絶対風景」にも取り上げられました。藤田さんはご自身が難病とわかっていて精力的に撮影をされていました。

タイトルも素晴らしくて、「霜月万華鏡」と「破天」にはしびれました。「どうしたらこんな素敵なタイトルを思いつくのですか?」と聞きましたら「いつもずっと考えていて、ふっと思いつく。思いつかなくなったら写真やめるよ」と笑いながら答えてくれました。お元気なうちに個展や作品集を見せていただきたかったなと思います。

思い出話が長くなりました。

いつまでも心に残る作品作りをめざして、秋の撮影シーズンを楽しみたいものですね。

(文責 戸張伸子)